

別紙1 テーマ1の提案に関する施策推進状況

テーマ1：「自分たちでできるまちづくりー地域住民主体による魅力あるまちづくりの提案ー」

提案項目	提 案 要 旨	回答課	施 策 推 進 状 況
(1)県内のまちづくり情報などの発信の充実(まちづくり情報センター)	NPOなどと協働により、地元でしか解らない祭りやイベント、地域のまちづくりの活動・組織・人等の生の情報をリアルタイムで発信すべき。また、まちづくり活動の交流機会の充実や行政のまちづくり情報の総合的な発信機能の充実が必要である。	建築課	本県では、交流政策課の「まほろば地域づくりネット」をはじめ、住宅課(歴史的町並みを有する地区)及び建築課(まちづくりモデル地区)等所管のホームページにおいて、まちづくり組織やイベントの情報、まちづくり支援制度の紹介などを行っています。 また、奈良県ホームページのトップページに「暮らしの情報／景観づくり・まちづくり」の項目を設けて、関係課へのリンクを図っているところです。 行政のまちづくり情報の総合的な情報発信機能の充実は、これからの大きな課題の一つであり、今後とも、庁内横断的な情報発信に努めてまいります。
(2)まちづくりに関する相談が可能な総合的窓口の設置(まちづくり相談窓口)	県民による多様なまちづくり・地域づくり活動に対して、総合的に情報支援したり、助言、案内する総合窓口の設置が必要である。	建築課	県では、平成19年7月に、まちづくりに精通した土木職員4名を「なら・まちづくりコンシェルジュ」に任命し、まちづくりに関する総合窓口を建築課内に設置しました。コンシェルジュは、地域におけるまちづくりを主体的に取り組む県民や組織に対し、現場へ出向き、情報提供や相談を受けるなど、その地域を継続的にサポートしていきます。 新年度においては、「コンシェルジュによる魅力ある地域創出事業」を新規に計上し、その活動の充実を図ります。 あわせて、建築課では、「住民主体のまちづくり」をテーマとした県政出前トークによる助言を行っているところです。 まお、平成20年度組織改正により、土木部に、まちづくり推進局地域デザイン推進課を設置し、まちづくりを総合的に推進します。
(3)身近なまちづくりを支援する専門的知識を有するボランティア、コーディネーターなどの養成、派遣制度(まちづくりのお手伝い隊)	身近なまちづくり活動に対して、ボランティアへの研修機会を増やすとともに、専門的な相談に応じたり、お手伝いをしたり、橋渡しをするボランティア・コーディネーターを募り(リタイア世代の活用も含む)、派遣する制度の拡充・創設が必要である。	県民生活課	ボランティアマネジメントスクールとして、 ・ボランティア・NPO 入門講座、ボランティアの仲介・受入を担当する人を対象としたマネジメント講座を行い、ボランティアの初心者から専門職員まで、それぞれの層の人材育成を図っています。 実施主体 奈良県社会福祉協議会 ・平成19年度実施回数：ボランティア・NPO 入門講座 1回 - マネジメント講座 4回 参加者数：延べ100人 訪れる人にとっても住む人にとっても魅力ある奈良県づくりを目指し、花のまちづくりや自然・文化体験などによる地域でのもてなし活動を応援するため、地域における実践者を派遣する「もてなしアドバイザー事業」を平成18年度から実施しています。現在まで、「桜によるまちづくりを行いたい」、「郷土色によるもてなしについてアドバイスを聞きたい」などの要請に応じ、まちづくり団体等に「もてなしアドバイザー」を派遣しています。 ・アドバイザー登録分野 歴史、食、景観、まちづくり、国際交流、自然体験、文化体験、その他 ・アドバイザー登録人数 205人(平成19年1月末現在)

提案項目	提 案 要 旨	回答課	施 策 推 進 状 況
			団体等への知事表彰等を行う「(新規事業)安全・安心まちづくり推進事業」を実施し、防災・防犯をキーワードにした地域コミュニティ活動への支援を行ってまいります。